

かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します。

【2005・2024問題と在宅療養支援診療所の役割②】

☆それでは、地域の診療所では、今後どのような状況となるかと考えると、通院が困難になるご高齢の患者様が增加してきており、一旦体調を崩すと受診のための通院が不可能になったりします。原則往診をしない診療所の患者様は時間外の体調が悪化した際の対応は、かかりつけの医師の診療再開時間まで辛抱強く待つか、頑張っで自力で夜間救急対応診療所や病院を受診するかですが、多くの場合は救急搬送を要請して救急病院を受診することを選択せざるを得なくなってきました。現在のままの状態では救急車の適正使用を推進しないと、緊急性の高い傷病者への対応が遅れて、助けられる命が助けられなくなることが懸念されています。更に、かかりつけ医を持たない高齢者や、医療機関を受診したくない高齢者(特に認知症の疑いのある方)が増加してきて、地域包括支援センターなどは対応に追われる状況となっていくと予想されています。そこで、思い出していただきたいことは在宅支援診療所の存在です。在宅療養支援診療所は、在宅療養中で通院が困難な患者様に対して、医師が自宅へ定期的に訪問し、診療や治療を行う医療機関で以下の施設基準を満たすこととなっております。【続く】 (ファミリー理事長:駒形清則医師)

～編集後記～スタッフのつぶやき～

☆新型コロナウイルス感染症に対する次世代型mRNA(レプリコン)ワクチン(Meiji Seika ファルマ社)が、昨年、世界で初めて日本で承認されました。レプリコンワクチンは、細胞内にmRNAが送達されると自己増殖されるように設計されており、いままでのワクチンよりも少ない摂取量でワクチンの効果が長く持続するそうです。このように、日本製造の新型コロナワクチン(武田、第一三共、塩野義など)も増えてきましたが、どのようなワクチンであるのか、それぞれの特徴など情報収集してから接種に臨む必要があるかと思われます。(K)

医療法人財団ファミリー

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町 1-41-1 桜井ビル 2階

① ☆外来：心療内科＝永井斐子院長

もの忘れ＝新井田素子医師

内科＝駒形清則医師

② ☆訪問診療

内科＝駒形清則医師、駒形明紀医師

精神科＝米谷充医師

神経内科＝今井壽正医師、西岡健弥医師、平井健医師

※詳しくはホームページをご覧ください、お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233